

旅、時代劇、スポーツ……CS放送には、専門性の高い多彩なチャンネルが数多くあるが、地上波では絶対に見ることができないのが外国語専門のチャンネルだ。そこでB-magaでは、外国語チャンネルにスポットを当てた特集を実施する。今号では、本誌の特集に初登場の外国語チャンネル取材した。

# 在日外国人比率第1位で、 中国語放送の人気は右肩上がり 国家放送「CCTV大富」など3チャンネルを運営する(株)大富

世界的な経済危機の中、巨大市場へと経済発展を続ける中国。日本企業の中国進出も年々増加し、一部上場企業の60%が中国に進出していると目されている。また、在日中国人は毎年3~4万人増加し、2010年に法務省入国管理局が発表したデータによれば、09年の外国人登録者数218万6,121人うち、中国人は約68万人、比率にして31%超と第1位となっている。今や近くて遠い国ではなくなった中国だが、日中間の情報交流がまだ難しかった98年に設立されたのが(株)大富(東京・中央区、張麗玲社長)だ。同社は、中国国家放送の「CCTV大富」を含む3チャンネルを運営すると共に、日本と中国の間でさまざまな業務や社会活動を行なっている。大富の設立メンバーでもある副社長の張煥琦氏と、営業部部長の根本直樹氏に、設立の背景や3チャンネルの概要などについて聞いた。



張煥琦氏 (株)大富 副社長  
根本直樹氏 営業部 部長(左)

## 「CCTV大富」開局の意義

—御社が設立した背景は。

張:当社は大倉商事とフジテレビジョン(以下フジテレビ)等の出資を受け、1998年2月に設立、同年7月に日本初の中国語チャンネル「CCTV大富」を放送開始しました。

社名は、大倉商事の「大」とフジ(富士)テレビの「富」を合わせたものに由来します。実は、社長の張麗玲氏は日本の大学へ留学後、大倉商事へ入社/勤務する傍ら、単身でフジテレビの協力を仰いで中国人留学生のドキュメンタリーを撮影していました。そういった関係もありご支援いただけたと思うのですが、設立からわずか半年後に突然大倉商事が倒

産。そこで、京セラ、アサツー ディ・ケイ、電通、ソニーが新たな株主となり、再スタートを切ったのです。

—98年頃、日中間の情報交流は少なかったのでしょうか。

張:当時は中国の改革開放が進展していましたが、中国で何が起きているのかを、隣国・日本では知られていなかった。なぜなら、当時はネットも普及しておらず、日中間の情報不足による誤解が数多くあったのです。また、在日中国人の数も年々増加していました。

そこで我々は、放送を通じて在日中国人のために中国の最新文化・時事情報を提供すると共に、日中の友好関係構築の一翼を担うことができるという思いで、大富を設立したのです。当時の状況を考えると、大富の設

立とCCTV大富が開局した意義は非常に大きかったと思います。

その後、02年2月に「TVB大富」、09年4月に「鳳凰衛視(フェニックスTV)」の放送をスタートし、現在では3チャンネルを運営しています。

## 中国で視聴率90%超の 人気番組などを放送

—3チャンネルのコンセプトは。

根本:3チャンネルとも、それぞれ異なったコンセプトで放送しています。

CCTV大富は、中国人に最も馴染みのある中国の国家テレビ局・CCTV(中国中央電視台)の番組から、ニュースを中心に、ドラマ、ドキュメンタリー等を24時間リアルタイムで放

送するチャンネルです。CCTVは中国で最も権威あるテレビ局であり、朝晩は1時間ごとにニュース番組を放送していますから、中国の“いま”を素早く入手できるチャンネルとしても大きな注目を集めています。

また、CCTVは素晴らしい番組をたくさん持っていることでも知られています。例えば、旧正月の大みそか(春節)に放送される『春晚聯歡晚會』は、視聴率が90%を超える超人気番組です。春節の頃にはCCTV大富に加入者が殺到するため、毎年、社員総出で受付業務にあたっていますよ。

TVB大富は、香港最大のテレビ局・TVB香港無線電視を代表する3つのチャンネルから、香港・台湾発の人気ドラマ、最新音楽・芸能情報などを厳選して24時間放送する娯楽バラエティ・チャンネル。

鳳凰衛視(フェニックスTV)は、中国国内で人気急上昇中の鳳凰衛視の番組を24時間放送する総合チャンネルで、最新のニュース番組、討論番組などが充実しており、柔軟性・客観性に優れた内容がエリート層を中心に高く支持されています。

張:今回の東日本大震災においても、各チャンネルのニュース番組の中でいち早く報道し、視聴者から大きな反響がありました。というのも、地上波の番組は日本語のみの提供がほとんどで、地震や津波に関する情報を得られない在日中国人が数多くいたのです。今後も、当社が果たす役割と重要性を認識し、冷静かつスピーディーに情報提供していきたいと思っています。

根本:中国・香港・台湾の番組をリアルタイムで放送だけでなく、オリジナル番組にも注力しています。

平日の毎夜、CCTV大富とTVB大富で放送中のニュース番組『日本新聞(日本ニュース)』は、その日に日本で起きたニュースを、中国人の視点で・中国語でお伝えする当社の看板番組です。具体的には、フジテレビ提供のニュースを、自社内のスタジオから毎日、中国語で放送しており、テロップも中国語に変えています。また、大富独自の取材や、在日中国人の生活情報も随時お届けしています。中国語で日本の時事ニュースを理解できるため、中国語学習者にも最適な番組として多くの視聴者に支持されています。しかも、ニュース原稿は毎日HPに掲載していますから、番組を見逃

した方にも貴重な情報源となっているのではないのでしょうか。

なお、スカパー!での各チャンネルの月額視聴料(税込)は、CCTV大富が1,890円、TVB大富が2,940円、鳳凰衛視が1,974円ですが、3チャンネルパックの「中国総合大富セット」は3,990円と割安のため、同パックへの契約者が多いです。

—日本人視聴者へ向けたサービスは。

根本:歴史ある“華流ドラマ”を多くの日本人に楽しんでもらえるよう、現在、一部のドラマ番組に日本語字幕を付けて放送しています。歴史、アクション、恋愛……等々、見応え十分なドラマが多数揃っていますから、必ず楽しんでいただくと確信しています。

また、今後はCCTV大富の番組を全て字幕対応にする、あるいはニュース番組を同時通訳でお届けすることも計画中です。

張:中国では、CCTVだけでも十数チャンネルあり、香港、台湾のチャンネルを含めると100以上の地上波チャンネルがありますが、CCTV・TVB・鳳凰衛視は、最も人気のある3チャンネルと言っても過言ではないでしょう。本国や在日中国人のエリート層・ビジネスマンは、この3チャンネルを見ながら投資判断や経営判断をされているようです。

## 高まる中国語放送の需要 プリンスホテル45カ所で採用

—中国からの観光客も年々増加していますが、法人向けの需要も伸びているのでしょうか。

根本:2010年7月1日の中国人向け観光ビザ発給条件緩和に伴い、中国人観光客を誘致すべく、企業はさまざまな取り組みを始めています。

実は昨年、CCTV大富が全国のプリンスホテル45カ所で一気に採用されました。当初は、東京プリンスホテルなど6つのプリンスホテルグループとして、中国からの観光客を招き入れるには中国語のチャンネルが必要との判断があり、一括採用が決まったのです。

この3月末までには、藤田観光の全直営ホテルへも採用される予定です。この他、いくつかのホテルチェーングループでも商談を進め



「新聞联播(ニュース)」月曜~日曜まで、毎日20時から放送

しており、中国語放送の需要が拡大していることを日々感じています。

—放送業務以外についてもお聞かせ下さい。

根本:放送業務の他、映像制作、新聞・雑誌の出版、コーディネート、通信業務など、日本と中国の間でさまざまな業務や社会活動を展開しています。

具体的には、中国の交響楽団を招致してのコンサートや、日本のテレビドラマを中国で撮影する際の、中国でのコーディネート業務などです。また、中国人留学生に対して奨学金を支援しているウシオ財団の奨学金募集窓口業務なども行なっています。

契約視聴者へのサービスとして、99年4月に新聞『大富報』(1年24回発行・年間購読料4,000円)を創刊しました。大富報では、2週間分の番組ガイドに加え、最新の社会ニュースから生活情報、商品紹介なども紹介しています。こういった細やかな放送外サービスを実施していくことが、長期の継続契約に繋がっているのだと思います。

—今後の展開についてお聞かせ下さい。

根本:在日中国人で大富を知らない人は、おそらくいないと思います。それだけ中国人同士の情報網は活発で、宣伝・広報がなくても口コミで広がっていくからです。一方、日本人の認知度は非常に低い。当社では、在日中国人に加えて、今後日本人の視聴者を獲得するために、さまざまな施策を考えています。そのためにも、まずはチャンネルの認知度を上げることが急務でしょう。今後もプラットフォームとの絆をさらに強め、プロモーション活動や情報交換を積極的に行なっていきたいですね。

また、スカパー!、スカパー!光、ひかりTVの他、今後はケーブルテレビでも視聴していただけるよう、準備を進めています。